

# わくわく 本だな



## 4月

★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

### こんげつのおすすめ



#### 『トヤのひっこし』(えほん)

イチノロブ・ガンバートル/文 パーサンスレン・ボロルマー/絵 津田紀子/訳 福音館書店



モンゴルにすむトヤのかぞくは、ひっこしすることに。さばくや山をこえても、新しいばしょには、なかなかつきません。

#### 『ヘンテコはみがきこ』(えほん)

みやにしたつや/作・絵 学研教育出版



へんてこかいじんがつくった、なぞのはみがきこ。リンゴあじで、はみがきすると、かおがリンゴになっちゃった!

#### 『ドラゴン王さまになる』★

茂市久美子/作 とよたかずひこ/絵 国土社

ドラゴンゴン国のたからものがぬすまれた!王子のドラゴンは、たからをとりかえすことができるかな?



#### 『それいけ!ぼっくん』★★

富安陽子/作 小松良佳/絵 借成社

ぼっくんは、目には見えない、家のまもり神。いたずらばかりする妖怪チミモーを、まほうの竹ぼうきでやっけます!



#### 『ゆめみの駅遺失物係』★★★

えきいしつぶつがかり 安東みきえ/著 ポプラ社



落とし物としてとどけられた物語が、ゆめみの駅にほかんしてあります。わたしのなくした話もあるのかな?

#### 『東京駅をつくった男 日本の近代建築を切り開いた辰野金吾』(ちしきの本)

きんだいけんちく 大塚菜生/著 くもん出版



東京駅ができてから、百年がたちました。今も変わらないすがたで利用されています。どんな人が、駅を建てたのでしょうか。



## あたらしく はいった本

### 『カエサルくんと本のおはなし』(えほん)

いけがみしゅんいち／文 せきぐちよしみ／絵



福音館書店

本のなかからあらわれた、小さなおじさん。本のうまれたひみつを、おしえてくれるんだって！

### 『ともだちはぶた』★

村上しいこ／作 田中六大／絵 WAVE 出版

ぶたのはなこちゃんは、とってもまじめ。うちへあそびに行ったら、おこられてちゃった。どうして？



### 『おーばあちゃんはきらきら』★★★

たかどのほうこ／作 こみねゆら／絵 福音館書店



おーばあちゃんは、小さくてしわくちや。でも、むかしあったことを話しはじめると、ふしぎな物語ばかり。まほう使いなのかも？

### 『おどる光』★★★

トンケ・ドラフト／作 西村由美／訳

今村暁子／絵 岩波書店

とうだいも 灯台守りの男のもとに、ふしぎな青年がやってきた。男にダンスを教えるかわりに、ランプをつける仕事をやりたいと言う。



### 『おおきな3びきゆうえんちへいく』

(えほん) クリス・ウォーメル／作・絵

小風さち／訳 徳間書店

きょうは、みんなでゆうえんちへ。けれども、ゾウおばさんたちは、とちゅうでよりみちばかり。ゆうえんちが、しまっちゃうよ！



### 『モンスター・ホテルでひみつのへや』★

柏葉幸子／作 高畠純／絵 小峰書店



ホテルのだんろのうらに、なぞのかいだんがかくされていた！おりていくと、ほこりをかぶった大きないも虫が、ねていました。

### 『消えた犬と野原の魔法』★★★

フィリパ・ピアス／作 ヘレン・クレイグ／絵

さくまゆみこ／訳 徳間書店

ティルの犬が、とつぜん消えた。さがしものが上手なおじさんと野原に行つて、モグラやネコに聞いてみたけれど…。



### 『アラスカの小さな家族 パラドクreekのボー』★★★

カークパトリック・ヒル／著

レウィン・ファム／絵 田中奈津子／訳 講談社



ボーはアラスカの小さな町で、幸せにくらしています。母さんはいませんが、父さんは、なんと二人もいるのです。

### 『巨大隕石から地球を守れ』(ちしきの本)

高橋典嗣／著 少年写真新聞社

もし、うちゅう 宇宙から大きな隕石が落ちてきたら、どうする？隕石から地球を守るための活動、「スペースガード」のはたらきを知ろう！



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

＜編集・発行＞ 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273